

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

今、福島県は、大きなダメージを受け、深く傷ついています。
だけど、住み続けたい大好きなふるさとだから、皆でがんばってもう一度輝きを取り戻したい！
もう一度元気にしたい！
子供たちの笑顔があふれるまち、安心して明るいまち。
そんな「いわき」を守り続けて行きます。



自由民主党公認
鈴木 さとる

今、すべきこと!

- *子育ての環境づくり
- *小名浜港の機能回復
- *減災で県土を守る
- *企業の活力と雇用創出



若さとやる気38歳

昭和48年いわき市小名浜生まれ
小名浜西小、小名浜一中、磐城高校、
国士舘大学政治経済学部卒、岩城光英参議院議員秘書、
いわき市議会議員2期

略歴 ●高坂小・内郷一中・磐城高校京
都大学理学部卒 ●浜通り医療生協理
事・小名浜生協病院事務長 ●200
3年県議初当選。

県民の運動が原発廃炉に

10月20日、福島県議会は、
共産党県議が紹介議員になっ
た「福島原発の廃炉を求め
る請願」を採決。原発廃炉
へ第一歩をふみ出しました。
放射能から子どもと市民を
守るために「原発廃炉」実
現に全力をつくします。

- 徹底した測定と除染を
- すべての市民に全面賠償を
- 一部損壊住宅への支援を
- 内部被ばくなど健康診断を無料に
- 18歳までの医療費を無料に

「大地震や大津波があつた
ときに、原発が事故を起こ
す」私が県議会で警告した
ことが起きてしまいました。
4年前議席を失い、事故を
防ぐ力になれなかったことが
悔しくてなりません。何とし
ても、県議会へ送り出してく
ださい。



日本共産党 五十二歳
はせべ あつし

国と東電に
ハッキリ
ものをいう

医療現場18年の経験いかし、放射能から子どもを守る

はせべあつしを何としても県議会へ

「原発ゼロ」「TPP反対」のメッセージを全国に発信しよう

はせべあつし選挙事務所 いわき市平畑町4-3 電話 (68) 6451

おもい 県民の希望をかたちに!



自由民主党
やぶき こういち
矢吹 貢一 (五十六歳)

- 人口減少と少子高齢化への対応
安心して子供を産み育てるための環境整備
高齢者の生きがいと健康づくりの推進
集約型都市構造への再編
- 安全・安心な暮らしへの対応
地域医療体制の整備と医師確保
災害対応及び地域防災体制の整備
河川改修、地すべり対策、
海岸保全施設の整備促進
主要地方道の整備
- 教育の充実で明日を担う人材の育成
学校教育・幼児教育の推進
学校・家庭・地域の連携による
地域に根ざした市民文化の継承と創造
県立総合武道館のいわき市への整備
- 環境と共生で持続可能な社会の構築
二酸化炭素排出抑制の推進
新エネルギーの利用拡大
生活排水処理体制の構築
リデュース、リユース、リサイクルの推進
- 地域経済振興への対応
農工商連携による地域産業6次化の推進
魅力ある地域資源を活かした
観光誘客の推進
果水産総合研究センター(仮称)の誘致
分権時代に対応した行政の確立
市町村重視の県政に向けた権限・
市民協働によるまちづくりの推進
行財政改革の一層の推進

- 東日本大震災からの復旧・復興
災害廃棄物の早期焼却処分
焼却灰及び汚泥等の仮置場の確保
放射性廃棄物の処理方針の早期確立
沿岸域被災地の早期復興と生活再建
特区制度を活用した経済の振興
- 原子力発電所事故の早期収束
生活環境全般に亘る放射性物質の除染
きめ細かい放射線モニタリングの実施
放射性汚染マップの早期作成と公表
原子力関連災害被害者への早期補償
- エネルギー政策の再構築
原子力発電に依存しない社会づくり
再生可能エネルギー活用を地域づくり
洋上風力発電実証施設のいわき市誘致



信頼・責任・実行
「矢吹こういち」は、飛躍する福島県
いわき市のために全力を尽くします。

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



自由民主党公認

あべひろし

○主な経歴

- 一、昭和四十一年三月 県立磐城高校(十八回)卒業
- 二、昭和四十五年三月 千葉商科大学商経学部卒業
- 三、平成四年九月 いわき市議会議員初当選
以後五期十七年間に議を勤める。
- 四、平成二十一年 福島県議会議員初当選
- 五、現在、いわき市ソフトボール協会々長



今こそ安心・安全社会の再構築を！
…ほんとうの安心・安全社会を目指し全力投球！…

○産業と経済のインフラ整備

- 地元産業と経済の復興に向けたインフラの整備促進
- 道路、港湾、河川、橋梁等の復旧・整備
- 中小企業の振興に向けた支援策の充実

○居住環境の整備

- 震災被害者への居住環境整備支援策の充実
- 安心安全を支える公共インフラの整備
- 環境関連情報提供の迅速化・オープン化

○安全・安心な食の提供体制の構築

- 農林水産物の生産環境の整備
- 安心・安全情報の提供体制の確立
- 生産者と消費者を結ぶ『絆』の構築

○次代を担う人材の育成

- 正しい判断力を培う『生きる力』の体得へ
- 環境教育・ECCO教育の充実
- みんなで支えあう『地域の絆』の構築



はせぬま邦彦

四十四歳

こどもたちの

命を

救う会

こどもたちの命を救うということは、未来の日本を救うということ……。

放射能汚染を徹底的に阻止します。

外部被曝

あきらめない除染活動

内部被曝(複合内部被曝)

学校給食を始め、食品の安全に何重ものセイフティネットをかけます。

食品暫定基準 福島県内で売られている食品(飲料水)を、より安全な数値まで下げさせます。

加工食品にも全食品にベクレル数値の記入を義務づけさせます。

復興・医療・福祉・雇用拡大・風評被害などにも全力で取り組み、県議・団となって結果を残させます。

佐藤知事が間違った決断をしないよう、県議が誘導します。

こどもたちの命を救うということは、いわき市の未来を救うということです。この私に皆さんの大切な

こどもたちと、いわき市の未来を守らせてください！あなたの清き一票を私に託してください。即戦力で

頑張ります。

いわきの復興!! 福島再生! 子供達を守ろう!!



自由民主党公認
あおきみのる
青木稔

主な経歴

学歴◆福島県立磐城高等学校卒業、法政大学経済学部卒業
経歴◆いわき市議会議員(連続3期)磐城第一高等学校PTA会長
福島県私立学校審議会会長、自民党県連総務会長、副会長
現職◆福島県議会議員(連続6期)、東日本大震災復興対策特別委員会委員、県議会企画環境委員会委員、いわき野球連盟顧問、自民党いわき総支部長
その他役職40職

政治信条

私はこれまで「先憂後楽」を座右の銘とし県民市民の目線で政治活動を続けて参りました。政治家とは声なき声を聴き行政側にどう対応させるか、実現させていくかが多くの民の信託を受けたものの使命であると思えます。今後も一日も早い復興に向けて政治経験集大成の気概で全身全霊で取り組む決意です。

公約

- 原発事故の早期収束と徹底した除染を実施します。
- 災害廃棄物の早期処分を国や県に求めます。
- 地震・津波による被災地の復興を促進します。
- 被災者の生活再建に全力を挙げます。
- 子供たちをはじめ全県民の健康を守ります。
- 本県産食材の安全確認を強化し、食の安全を守ります。
- 風評被害を払拭し、産業の再生と雇用の確保を図ります。
- 子供たちの教育環境を早急に復旧させます。
- 原発事故による損害の速やかな賠償を求めます。
- 原子力に依存しない安全安心な福島県を築きます。

復興にかける決意

未曾有の大震災と原発事故。私はこれまでの経験と国・県の太いパイプを生かして、直面する困難に立ち向かい、いわきの復興・福島再生に全力を傾注する覚悟です。

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

ただひとりの
女性代表

放射能の不安、子育て、くらしの願いは、

宮川えみ子へ託してください



日本共産党

宮川えみ子

震災・原発事故は、誰も経験したことのない大災害です。多くの要望が寄せられています。市民が必要としていることを、どんどんやらないと、暮らしは守れません。市議・県議30年、みなさんの願いが活動の原点として頑張ってきました。みなさんの願い実現に全力で頑張ります。

県民の力が原発廃炉に

10月20日、福島県議会は、私が紹介議員になった「原発の全面廃炉を求める請願」を採択しました。「原発に頼らない福島」へ第一歩をふみ出しました。自然エネルギーへ転換して、子どもたちに安全で豊かな社会を引き継ぐためにがんばります。

被災証明は、市民の納得が大事
一部損壊住宅への支援を
距離による線引きなしで
原発被害の全面賠償を
線量にかかわらず放射能から
子どもを守る除染を
内部被ばくやがん検診など
無料の健康診断を
高校卒業(18歳)まで
子どもの医療費無料化を



宮川えみ子で「原発ゼロ」「TPP反対」を

お困りごとの相談は、宮川えみ子事務所へ ☎ 88-1357



無所属

さいまる 武進

67歳

主な経歴

- 昭和三十八年七月一日～平成三年一月七日迄 いわき市職員
- 平成三年一月八日～平成七年三月迄 いわき市職員労働組合
- 平成七年四月～平成二十三年十一月十九日迄 県議
- 平成二十三年十一月十日～二十日 県議五期目に挑戦

この度の県議選に臨む考え方を記述させていただきます。

その前に、東日本大震災で亡くなられた皆様、心から哀悼の誠(まこと)を捧げます。また、被災された皆様に対しても、お見舞いを申し上げます。大地震・大津波に伴う災害の復旧復興対策に万全を期す為、最善の努力をさせていただきます。その為には、成すべき課題を、早急に克服することでありませぬ。

その成すべき課題の第一は、何よりも、優先として、やらなければならないことは、原発事故を完全に収束させることでありませぬ。誰が責任を持ち、誰が担うのか、様々な意見が出ておりますが、責任は、当然事業者である東京電力にあり、原発を国策として誘導した国の責任も重大であります。いまこそ東京電力は、全てのノウハウを出し切り、日本の、世界の、知見をも結集させながら、収束を図ることでありませぬ。

課題の第二は、地震が、大津波が、どちらかが原因で、電源は使用不能となる。後に水素爆発を起し、燃料棒は空焚きに、メルトダウンを起し、強い放射性物質を放出させたのです。溶融等の防止策の一環として、真水、海水等を多量に注入しましたが、注入水は放射能と混合化し、多量の汚染水となって、炉内の地下などは満水状態に。強い風雨により、放射性物質は今も飛散を続けておりますが、この炉内の汚染水を除染させ、汚染水を完全に封じ込めることが、絶対必要なのであります。その実現に汗をかきます。

課題の第三は、放射性物質の飛散状況であります。既に長期に亘り放出を続けており、積算放射線量は増す状況に至っておりますだけに、公園の除染、学校、幼稚園、保育園等の除染、土壌等の除染対策に万全を期すことが、何よりも大事であります。知見を活かし実践効果の出る展開を求めて参ります。

以上の課題解決を図りながら、「つくろろう人間愛のまち」を主軸にして、**教育に心、福祉に愛、環境に知恵、をサブ主軸として、更に、県立医大を有効に活用、医師確保に力を注ぎ、いわき市立総合警城共立病院を基幹病院として医療の充実に努めます。また、新工事に力を注ぎ、ガス、地熱、太陽光、バイオマス等の研究開発に力を入れ、環境に優しい新工事に切り替えた、政策を求めて参ります。**

投票日に投票できない方は、

期日前投票制度 又は 不在者投票制度 を利用しましょう！！

避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。

- **場 所** / 期日前投票：各市町村選挙管理委員会が定める場所
不在者投票：滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会
- **手続き** / 期日前投票：期日前投票所に行って直接、投票箱に投票します
(ただし、宣誓書の記載が必要となります)
- 不在者投票：

① 投票用紙等を請求する

② 投票用紙等を受け取る

③ 滞在地(避難先)の市区町村で投票する

- ・「不在者投票請求書・宣誓書」を、住民票のある市町村選挙管理委員会に郵送してください。
- ・様式は、県選挙管理委員会ホームページからダウンロードできます。
- ・【注意】受け取った投票用紙への事前記入等はしないでください。
- ・滞在地(避難先)の市区町村から住民票のある市町村に投票用紙を送る必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

復興とは 悲しみと苦しみを 喜びと幸福に変えること！



国宝白水阿弥陀堂

- ①地域が輝くために！
地元活性化のために地域の宝を
- ②子供達の笑顔が輝くために！
環境教育の推進で生命の大切さを
- ③健康で明るく輝くために！
共に生きる暮らしやすい社会を



民主党公認
佐藤けんいち
昭和24年4月27日生
62歳

●プロフィール
いわき市内郷宮町金坂三
佐藤呉服店の長男として生まれる
内町小、内郷一中、磐城高校、関東学院大学卒
吉田泉衆議院議員の元公設第一秘書
元 内郷商工会青年部部长
元 内郷地区体育協合理事
民主党福島県総支部連合会 常任幹事
民主党福島県第5区総支部 副支部長
いわき市身体障がい者福祉会連合会 事務局長
人は人によって輝く

●信条
人は人によって輝く



自由民主党公認
さいとう健吉

○主な経歴

- 一、昭和三十三年 いわき市立小名浜第一中学校卒業
- 二、昭和三十六年 県立磐城高校卒業 ラグビー部
- 三、昭和四十二年 早稲田大学政経学部政治学科卒業
- 四、昭和四十二年 常磐炭鉱株式会社入社
- 五、昭和四十八年 仙台ミサワホーム入社
- 六、昭和五十四年 進和興産株式会社設立
- 七、平成四年 いわき市議会議員四期
- 八、平成十九年四月 福島県議会議員初当選

●原発からの脱却

商労文教常任委員会副委員長

県議当選以来、一貫して原発の福島県からの脱却を図る「新エネルギー立県宣言」をすることを要望してまいりました。今こそ、太陽光・風力などに全面的に取り組み福島県への大転換へ取り組みます。

●安全・安心な暮らしの実現

故郷いわき市を放射線汚染から守る放射線医療の最先端拠点とすることにつとめます。

●教育

子供達が、安心して学べるよう、教育施設の全面的放射線汚染の除染を実施し心身共に伸び伸びと成長出来るようつとめます。

●安全な地域・まちづくり

被災地を区画整理や高台移転などで自然災害に強い安全な地域に復興再生をはかります。

●産業の復興再生

放射線風評被害から守るために、本県農水産物の産地で即時検査体制を確立し、又、本県の観光の一層の魅力度の向上を図り、更に新エネルギー産業の誘致など故郷いわきの復興再生に取り組みます。

各投票所の投票できる時間は、次のとおりです。

いわき市選挙区

■当日投票所

市町村名	全投票所数	投票所数	開始時刻	閉鎖時刻
いわき市	139	39 投票区	7:00	18:00
		100 投票区	7:00	19:00

■期日前投票所、不在者投票所

原則として

8:30 から 20:00 まで

※ 一部、異なる場合があります。

詳しくは、いわき市選挙管理委員会にお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

清水敏男 プロフィール

公式サイト ▶ <http://shimizu-toshio.com>

- 湯本第一中学校(生徒会長)
- 磐城高等学校(野球部)
- 日本大学法学部(弁論部)
- 国会議員公設秘書
- いわき市議会議員(29歳初当選・2期)
- 福島県議会議員(35歳初当選・3期)
 - 福祉公安常任委員会委員長
 - 子育て支援対策特別委員会委員長
 - 議員提出条例案検討会会長

【公約】

- 一、スピード感のある復興
- 二、県民の健康第一の施策展開
- 三、原発に頼らない県づくり
- 四、最先端企業の積極的誘致
- 五、子どもが夢を持てる教育実現

東日本大震災におきまして被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。

三月十一日の地震・津波・原発事故・風評被害により、故郷いわき市は一変してしまいました。放射線による見えない恐怖との戦いや津波被災地の復興には相当な期間と資金が必要になると思われ、子育て・農林水産業・工業・商業・観光業に大きな影を落としています。市民の生命・財産を守るのは政治の最大の使命であり、スピード感のある復旧・復興が不可欠であります。

私は、議員としての豊富な経験と人脈を活かし、この難局を乗り越えるため、あらゆる行動をしていきたいと考えます。

市民の皆様、どうぞお力をお与え下さい。



自民党公認
しみずとしお
清水敏男
働きざかり48歳

『復興の礎に！』
いしずえ

公明党 公認

ふくしまの未来に一生けんめい！あなたとあしたをつくれます！

安心と希望を！！

復興！！

安心のいわきへ！放射線から、子どもと地域を守ります！



あべやすお
やすお

元気なふるさと、うつくしまを。

大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、常日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。

私、あべやすおは、県議会選挙に初挑戦させて頂くことになりました。県民一人ひとりの声と心を大切に、「元気なふるさとうつくしま」を取り戻すため、全力で働いてまいります。

あべやすおの約束。

- 迅速、徹底した除染の実施
- 県民の健康を守る医療拠点を整備
- 子どもの医療費助成制度を創設
- 食品の放射線検査体制を強化
- 復興・子ども特区の早期実現
- 再生可能エネルギーの普及促進
- 観光・文化・スポーツの振興
- 小名浜港の早期復旧

●プロフィール

- 【現職】● 党県幹事長代理
- 党いわき総支部長
- 昭和32年3月11日いわき市生まれ。54歳
- いわき市立錦小学校・錦中学校・内郷高校を経て、昭和54年3月中京大学法学部卒業
- 昭和54年4月(株)家具の山新入社。昭和62年7月 退職
- 昭和62年9月 サンコウプリント(株)入社。平成4年7月 退職
- 平成 4年9月 いわき市議会議員に初当選。以後、連続5回当選。平成23年2月 辞職

投票日に投票できない方は、
期日前投票制度 又は 不在者投票制度
を利用しましょう。

※ 避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。



県議会議員選挙 11月20日(日) 投票日

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

ふくしまを元気にする3つの力

～ 福島再生なくして日本の再生なし ～

再構築

～復旧、復興、そして再構築～

雇用

～大胆な発想の転換～

観光

～ふくしまの復活は観光から～

政治家に必要なもの…それは「覚悟」。
 覚悟がなければ流される。覚悟がなければ足をすくわれる。
 吉田泉代議士の秘書を通じて身につけたもの、
 ただ一つ「覚悟」です。
 明日に希望、未来に夢、その実感が持てる社会を
 皆さんと一緒につくっていききたい。
 鳥居さくや「いわき市民の秘書」として
 張り切って活動してまいります。
 若輩ではございますが、ご指導よろしくお願ひいたします。

私たちには
未来をつくる
責任がある。

責任世代



民主党公認

鳥居 さくや

<プロフィール>

- ・ いわき市勿来町出身
- ・ 磐城高等学校卒業
- ・ 獨協大学経済学部経営学科卒業
- ・ 衆議院議員・吉田泉元秘書

民主党公認
鳥居 さくや
 37才

みんなの党

○電力供給基地である

福島県の電気料金を半額に！

現職 税理士
いわき法人会副会長・税制委員長

浜通りの医療環境の充実と放射能研究のため、設置費用及び授業料の全額国庫負担による国立医科大学または著名私立大学の医学部の新設を要求します。

○医科大学の新設と放射能の研究施設をいわき市に！

○全県民に基本（謝罪）補償を、 実害に対する適正な補償を！

復興予算獲得のための陳情政治に堕ちている現状です。県民を金で操ることは許されません。財源を地方の裁量に任せるべきです。

○自主復興財源確保のために 課税権を地方自治体に！

・福島県を消費税率0%地域に（課税仕入れにかかる消費税の全額還付）。
・転出企業が相次ぐ中、事業所税の即刻廃止及び適及還付（過去5年）を。

○福島県の新生・復興のために 真の税制改革を！

原発災害による風評により企業・事業所の県外転出が加速しています。大震災や原発事故の放射能・風評被害に必死に耐え、県内で雇用を守り生産を継続している企業や事業所・県民こそが減免の対象であるべきで、政府の増税路線は誤りです。
・福島県内企業の法人税の実効税率を5%に。所得税率を現行の50%に。
・福島県を消費税率0%地域に（課税仕入れにかかる消費税の全額還付）。



みんなの党公認
青木きよぶ

投票日に投票できない方は、

期日前投票制度 又は 不在者投票制度 を利用しましょう！！
避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。

- 場所／期日前投票：各市町村選挙管理委員会が定める場所
不在者投票：滞在地（避難先）の市区町村選挙管理委員会
- 手続き／期日前投票：期日前投票所に行って直接、投票箱に投票します
(ただし、宣誓書の記載が必要となります)
- 不在者投票：

- ① 投票用紙等を請求する
- ② 投票用紙等を受け取る
- ③ 滞在地（避難先）の市区町村で投票する

- ・「不在者投票請求書・宣誓書」を、住民票のある市町村選挙管理委員会に郵送してください。
- ・様式は、県選挙管理委員会ホームページからダウンロードできます。
- ・【注意】受け取った投票用紙への事前記入等はしないでください。
- ・滞在地（避難先）の市区町村から住民票のある市町村に投票用紙を送る必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。
候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



民主党公認

古市三久

63歳

経歴

- ・いわき市議会議員 三期
- ・民主党福島県第五区総支部幹事長(現)

脱原発と人に優しい地域と環境の再生

三月十一日の原発震災は、私たちの日常生活を根こそぎ壊してしまいました。この原発事故は、東京電力の人命を軽視した利潤追求行為が招いた事故であり、「人災」というものです。

原発から放出された大量の放射能物質は、二〇〇万県民をことごとく放射能まみれにしました。三〇年以上も前から原発の危険性を訴えてきた私にとっても極めて残念ではありません。

この原発事故はこれまで国が振りまいてきた「安全神話」を崩壊させました。重大事故を引き起こした責任は、東京電力にあります。県の責任も重大です。県は、国の安全対策を鵜呑みにして思考停止の状態にあつたからです。

東京電力は自らの責任を明確にし、二〇〇万県民に等しく賠償・補償をすべきです。

事故を契機に県民の原発不信は高まり、県も脱原発の方針を掲げました。原発に依存しない社会に向けた、国のエネルギー政策の転換が最重要課題になっています。

いま、迅速にやらなければならないことは、県土の徹底した放射性物質の除去、放射能被曝による健康被害対策、賠償、そして復興への道筋を示すことです。

私は、みなさんといっしょになって、放射能物質に汚染された県土、「いわき」を人に優しい地域と環境の再生に向けて取りくんでまいります。

あなたの一票 明るい未来



福島県議会議員 一般選挙

投票日

11月20日(日)

福島県選挙管理委員会・

福島県明るい選挙推進協議会



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。
候補者等が選挙公報をホームページに掲載することや印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成23年11月20日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

県議会議員選挙 投票日11月20日(日)

投票日に投票できない方は、

期日前投票制度 又は 不在者投票制度 を利用しましょう!!
避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。

■期 間／ 11月11日(金)～11月19日(土)

■時 間／ 8:30～20:00 (※一部、異なる場合があります)

期日前投票所によっては、投票できる期間や投票時間が異なる場合がありますので、各市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。福島県選挙管理委員会のホームページ、福島県モバイル県庁に県内市町村の期日前投票所及び投票時間を掲載しております。

選挙が行われていない福島県外の市区町村で不在者投票を行う場合、不在者投票のできる時間は執務時間内(一般的には平日の8:30から17:00まで)となりますので、ご注意ください。

■場 所／期日前投票：各市町村選挙管理委員会が定める場所
不在者投票：滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会

■手続き／期日前投票：期日前投票所に行って直接、投票箱に投票します
(ただし、宣誓書の記載が必要となります)

不在者投票：



① 投票用紙等を請求する

「不在者投票請求書・宣誓書」に必要事項を記入し、住民票のある市町村の選挙管理委員会へ郵送してください(メールやFAXでの請求はできません)。
※様式は、県選挙管理委員会ホームページからもダウンロードできます。



② 投票用紙等を受け取る

住民票のある市町村の選挙管理委員会から、郵送されてきた封筒(投票用紙、投票用封筒(内封筒と外封筒)、不在者投票証明書)を受け取ってください。
【注意】不在者投票証明書の開封や投票用紙への事前記入は絶対にしないでください。投票ができなくなります。



③ 滞在地(避難先)の市区町村で投票する

受け取った封筒を持参して滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会で投票してください。滞在地の市区町村から住民票のある市町村に投票済の投票用紙を送る必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。

詳しくは、県選挙管理委員会又は最寄りの各市区町村選挙管理委員会にお問い合わせください。